

2024年11月6日
東日本旅客鉄道株式会社

地方をもっと元気にしていくファンドをつくります

～ スタートアップ企業との共創による社会課題の解決をさらに加速します ～

○JR東日本グループは「変革2027」において「地方を豊かに」をコンセプトに、持続可能な社会基盤のもと、活発な交流を通じてすべての人が心豊かに生活できるサービスの提供、推進を掲げています。

○これまで、JR東日本ローカルスタートアップ合同会社を通じて地域に根差した事業に取り組む企業への出資や事業連携を行ってきましたが、これまで以上に地域との連携を強化するため、20年の長期視点を持った、運用規模10億円のファンドをつくります。

○なお、JR東日本スタートアップ株式会社により2017年から開催してきた「JR東日本スタートアッププログラム」が10回目の節目を迎えることから、これまでの共創の歩みと新たな事業共創を総括するリアルイベント「JR EAST STARTUP DAY」を開催します。

1. 「JR東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合」の設立

当社グループは、地域に根差した事業に取り組むローカルスタートアップ企業との協業推進を目的として、2023年4月にJR東日本スタートアップ株式会社の100%出資による「JR東日本ローカルスタートアップ合同会社」を設立し、ローカルスタートアップ企業への出資ならびに事業連携をしてきました。

今後、地域との連携や社会課題の解決をさらに加速させていくため、運用期間を一般的なファンドに比べて長期となる20年間に設定した、東日本旅客鉄道株式会社とJR東日本スタートアップ株式会社の出資による「JR東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合（ローカルスタートアップファンド）」を新たに設立します。なお、本設立に伴い、JR東日本ローカルスタートアップ合同会社を解散します。

また、将来的には、社会課題の解決を目的とする外部企業等と連携した新たなファンド組成なども検討できる体制づくりを目指します。

<JR東日本ローカルスタートアップ合同会社によるこれまでの出資案件>



常磐線小高駅「無人駅舎醸造所」
(株式会社 haccoba)



青森線「沿線まるごとホテル」
(沿線まるごと株式会社)



上越線土合駅「DOAI VILLAGE」
(株式会社 plower)

<投資事業有限責任組合の概要>

組合名称：JR 東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合
所在地：東京都港区高輪二丁目 21 番 42 号 TokyoYard Building
有限責任組合員：東日本旅客鉄道株式会社
無限責任組合員：JR 東日本スタートアップ株式会社
ファンド運用規模：10 億円
ファンド運用期間：20 年（延長有）
出資対象：地域活性化に資する事業で、かつ地域の持続的な成長と JR 東日本グループとの事業シナジーを見込める事業者

<投資事業有限責任組合による出資 1 号案件について>

JR 東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合による出資 1 号案件として、「Eki Lab 帯織」や「JRE Local Hub 燕三条」を運営している新潟県三条市の地域パートナー、株式会社ドッツアンドラインズに出資します。

出資先：株式会社ドッツアンドラインズ
所在地：新潟県三条市帯織 2342 番 2
代表者：齋藤 和也
設立：2020 年 3 月 31 日
事業内容：ものづくり技術の新商品開発、ビジネスマッチング、産業発信等
過去実績：ものづくり体験・ソフトウェア体験のできるワークショップやセミナーの開催、長岡工業高等専門学校との産学連携イベントを通じたものづくり産業の活性化等
URL：<https://dotsandlines.co.jp/>



JRE Local Hub 燕三条
(上越新幹線 燕三条駅)



Eki Lab 帯織 (信越本線 帯織駅)



2. 「JR EAST STARTUP DAY」の開催

(1) 「JR 東日本スタートアッププログラム」について

2017 年度から「JR 東日本スタートアッププログラム（以下、プログラム）」を毎年開催し、これまで 9 回開催しました（2022 年度から年 2 回開催）。スタートアップ企業のさまざまな優れたアイデアや最新技術などを、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用した協業の提案を募り、実証実験などを経て、実装していくプログラムです。



「JR EAST STARTUP DAY」キービジュアル

(2) 「JR EAST STARTUP DAY」について

プログラム 10 回目を記念し、これまでプログラムで採択した企業をメインとした物販・飲食催事（“PARK”：新宿駅新南改札外 Suicaのペンギン広場にて一般公開）、事業共創の取り組みの展示・紹介（“EXHIBITION”：LUMINE 0 <ルミネゼロ>にて関係者のみ公開）、過去の採択企業のプレゼンテーション・トークセッションおよび JR 東日本スタートアッププログラム 2024 春の採択企業の発表会（“PITCH STAGE”：LUMINE 0 <ルミネゼロ>にて関係者のみ公開）を「JR EAST STARTUP DAY」として、2024 年 11 月 23 日（土）～26 日（火）の期間で実施します。

「JR EAST STARTUP DAY」“PARK” 詳細

開催日時：2024年11月23日(土)、24日(日)：12:00～18:00 / 25日(月)、26(火)13:00～20:00

開催場所：新宿駅新南改札外 Suicaのペンギン広場

入場料：無料

主催：東日本旅客鉄道株式会社、JR東日本スタートアップ株式会社

参考

<JR東日本スタートアップ株式会社について>

JR 東日本スタートアップ株式会社は、優れたアイデアや先端技術を持つスタートアップ企業とともに、JR 東日本グループの経営資源を活用して、未来をつくる新たなビジネスやサービスの創出と地域のより一層の活性化と豊かな暮らしづくりに貢献するため、2018年2月に設立したコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）です。

事業シーズや先端技術の調査・発掘、「JR 東日本スタートアッププログラム」の運営、ベンチャー企業への出資および JR 東日本グループとの協業推進、スタートアップ企業へのワークスペース提供などのサポートを行っています。



<JR 東日本グループの出資機能について>

	【今回】 JR 東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合	 JR 東日本スタートアップ	 JRE Ventures	 高輪地球益ファンド
目的	地域課題の解決、地域との連携のさらなる加速	オープンイノベーションを通じた当社グループの変革		地球益の実現に資するスタートアップ支援
投資領域	地域課題解決や地域活性の実現に資する領域	鉄道領域 生活ソリューション領域 IT・Suica 領域	リテール/EC 物流・広告	環境・モビリティ・ヘルスケアを中心とした地球益の実現に資する領域
特徴	地域としっかりと伴走するために長期的な運用期間を設定(20年、延長有)	アクセラレータープログラム等を通じた当社グループの戦略リターン最大化	海外スタートアップの技術/ビジネスと当社グループのビジネス課題をつなぐ	TGC ^{※1} を実証フィールドとして活用しながらスタートアップを効果的に支援
強み	当社の保有する幅広いアセットとスタートアップの持つ技術・サービスの組み合わせ			TGCを拠点とした広域スタートアップエコシステム
投資対象	地域に根差した事業に取り組むスタートアップ	当社グループの事業変革ができる国内を主な拠点とするスタートアップ	主に「生活ソリューション事業」とのシナジーが期待できるスタートアップ	まちづくりパートナーとして地球益の実現に資するスタートアップ
運用規模	10億円	50億円	50億円	50億円(予定)
スキーム	投資事業有限責任組合(GP ^{※2})JR 東日本スタートアップ	CVC	CVC	投資事業有限責任組合(GP) グローバル・ブレイン

※1 TGC : TAKANAWA GATEWAY CITY

※2 GP : General Partner (無限責任組合員)